

令和2年度司法書士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の司法書士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

【第36問】

問1について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、特定財産承継遺言により遺産に属する特定の不動産が共同相続人の一人に承継されたことを読み取った上で、当該承継は、法定相続分を超える部分については、登記を備えなければ第三者に対抗することができないことについての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問2について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、所有権の更正の登記を申請すべきことを読み取った上で、申請情報及び登記原因証明情報その他の添付情報の内容等についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問3について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、根抵当権の設定の登記を申請すべきことを読み取った上で、申請情報の内容、登記識別情報の提供の可否及び登録免許税額の計算方法についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問4について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、所有権の登記名義人の住所の変更の登記及び根抵当権の債務者の住所の変更の登記を申請すべきことを読み取った上で、登記を申請する順序、申請情報の内容、登記識別情報の提供の可否及び添付情報への影響並びに登録免許税の課税の有無についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問5について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、所有権の保存の登記及び共同担保としての根抵当権の追加の設定の登記を申請すべきことを読み取った上で、登記を申請する順序、申請情報及び登記原因証明情報その他の添付情報の内容並びに登録免許税額の計算方法についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問6について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、個人事業を営む者が事業のために負担した貸金債務について、当該事業を目的とし、当該者を唯一の取締役とする株式会社が、免責的債務引受により当該貸金債務と同一の内容の債務を負担し、その後、当該者が同債務を主たる債務とする保証契約の保証人になろうとしていることを読み取った上で、当該保証契約の締結に先立ち、保証債務を履行する意思を表示した公正証書（保証意思宣明公正証書）の作成の可否及びその理由についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

【第37問】

問1について

募集株式の発行，剰余金の資本組入れ，取締役会設置会社の定めの廃止，監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定する旨の定款の定めの設定，並びに取締役及び代表取締役の変更につき，提示された資料から読み取り，株主総会における各議案の決議要件，取締役会設置会社でない株式会社となったことが及ぼす効果等に留意しながら，登記の申請書を正確に記載した上，当該申請書の添付書面を特定し，納付すべき登録免許税の額を正確に計算することを求めるもの

問2について

株式の併合，発行可能種類株式総数及び発行する各種類の株式の内容の変更，並びに代表取締役及び監査役の変更につき，提示された資料から読み取り，株主総会における各議案の決議要件，決議内容が各種類株主に与える影響，代表取締役の選定方法の変更が及ぼす効果等に留意しながら，登記の申請書を正確に記載した上，当該申請書の添付書面を特定し，納付すべき登録免許税の額を正確に計算することを求めるもの

問3について

監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定する旨の定款の定めがある株式会社は，会社法第426条に規定する取締役等による責任の免除に関する定款の定めを設けることができないことについての正確な理解を問うもの